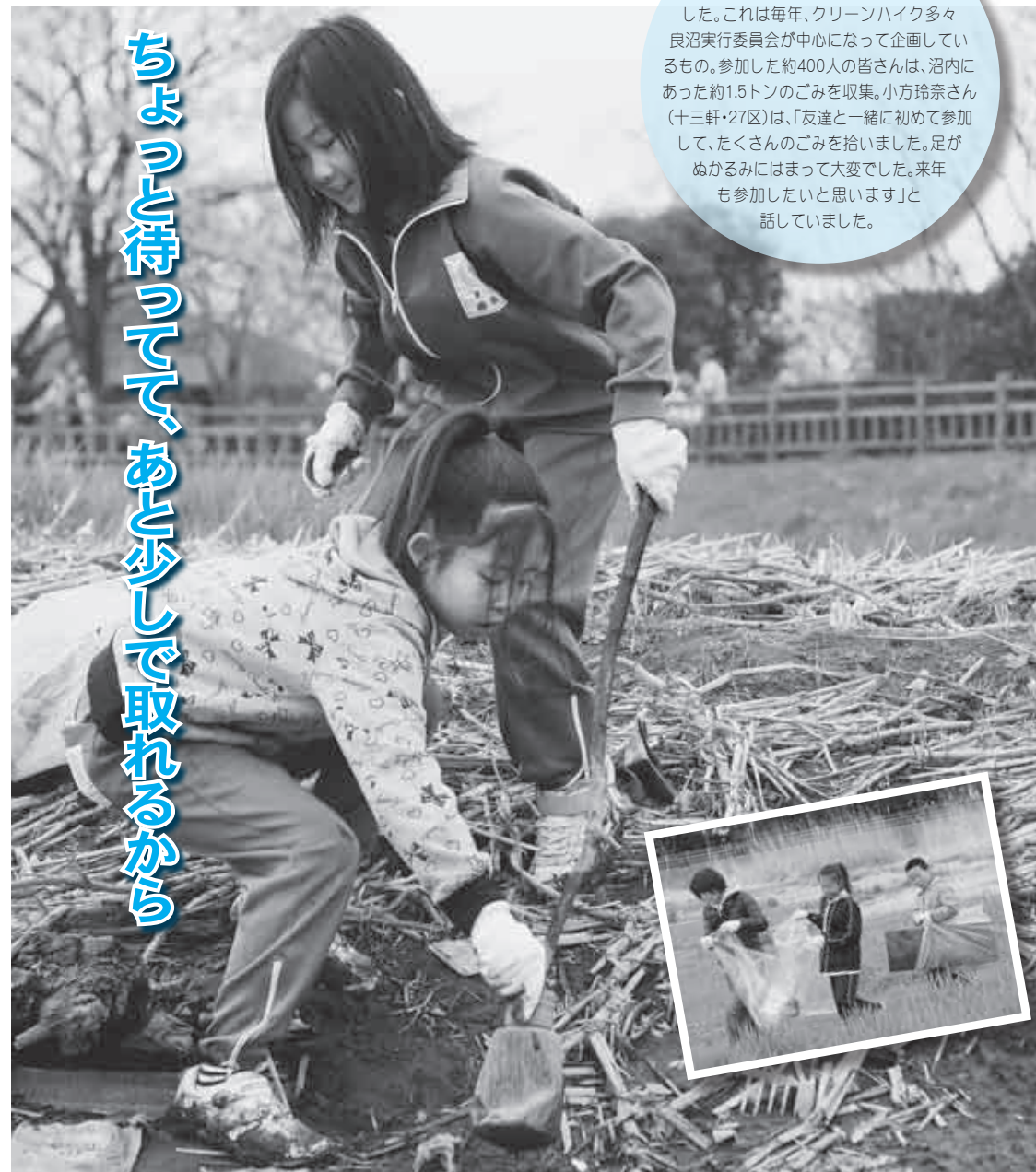


# PHOTO PALETTE



4月4日、多々良沼公園  
周辺でクリーンハイクが行われ  
ました。これは毎年、クリーンハイク多々  
良沼実行委員会が中心になって企画してい  
るもの。参加した約400人の皆さんは、沼内  
にあった約1.5トンのごみを収集。小方玲奈さん  
(十三軒・27区)は、「友達と一緒に初めて参加  
して、たくさんのごみを拾いました。足が  
ぬかるみにはまって大変でした。来年  
も参加したいと思います」と  
話していました。



ちよつと待ってて、あと少しで取れるから



## 心と体にいやし効果抜群



3月25日、青年初めてのアロマ講座が行われました。山野井京子さん(大谷端宿赤東・31区)は、「アロマテラピーに興味があり参加しました。講座で作ったアロマミストを毎日朝と就寝前、部屋にまいています。いやし効果があって、心も体もリフレッシュできます」と話していました。

## 町に緑が増えますよー



4月17日、役場庁舎北側駐車場で緑化苗木の無料配布が行われました。この日、用意された苗木は200本のブルーベリー。これは、緑化推進活動の一環として毎年行っているもので、緑の募金の補助を受けて用意されました。会場では、緑の募金も呼びかけながら配布が行われました。

## 保育園生活がスタート



4月6日、町内の保育園で入園式が行われました。この日、お父さんやお母さんに手を引かれ、入園式に参加した園児たちは、105人。これから、園児たちの新しい保育園生活がスタートします。中央保育園では、入園した園児たちに年長の園児たちが、おゆうぎを披露していました。

## 町の歴史 連載三百四十二回

### 町の年代記 第44回

細谷清吉(歴史研究家)

細谷右馬助秀国(十一)は五位堂墓地(清和源氏新田一族の細谷右馬助秀国入道弘林が、開いた籠宮山観音院泉福寺と丹後国籠神社から勧請した籠宮神社については、前に述べました。その没年については明らかではありませんが、その墓地と五位堂は今も影をとどめています。五位堂は、秀国の官位を示すお堂と言ひ、御影堂のことと言ひ説もあります。秀国の墓所は細谷館の南にあり、現在は足利赤岩峠道に分断され、東に「塚越」という地名が残っていますから、広大な墓地だったと思われる。

西に上屋敷細谷家累代墓地があり、墓地の北西には白檜の大木が天を覆い、東には五位堂があります。大木は根まわり七メートル、高さは九十七センチのところで四本に分かれ、目通りの太さはそれぞれ、二・六、一・五、〇・九、二・〇・六三メートルあります。枝葉の広がりは東西・南北が十七メートルの巨木で、樹勢は旺盛、まさに細谷館と五位堂の歴史を物語っています。五位堂は墓地とともに建立されたと思われるます。年代を経て、昭和四十二年に建て替えられました。旧堂は茅葺の大きな堂で、留守居を兼ねた堂守も住んでいました。堂内に弘林入道秀国の霊を安置し、先祖代々の霊牌が納められていました。今は阿弥陀如来の金色の石像と千体仏の木像が安置されています。

阿弥陀如来は高さ一メートルの座像で、背面に寛文十三年(一六七三)癸丑二月十五日 細谷吉宗と刻まれております。吉宗は秀国から十一代目に当たり、五十六歳です。阿弥陀如来には、「奉新 建立阿弥陀如来千一伴仏 為後生菩提也 仏師 江戸小伝馬町 高山彦兵衛 本海仏師 浅草 石屋源太郎 同 彩仏師 木崎村 吉田兵部 元禄十五年(一七〇二) 卯月八日 施主 上野国邑楽郡佐貫庄篠塚村 細谷与徳左衛門吉宗 八十五才 導師 同国小泉村龍泉院 九世 碧天大和尚 敬白」これとあります。これは吉宗が安楽な極楽往生のため、新しく造立安置したものです。これから御影堂と呼ばれたのでしよう。



五位堂の大古木白檜